

「王将」など名曲数々



盟友の作詞家高野公男「没後60年祭演奏会」で弟子の北島三郎さん(右)、鳥羽一郎さん(左)とステージに臨む船村さん。ギターを弾きながら、情感たっぷりに歌い上げた。2016年9月、水戸市



美空ひばりさん(右)の長期入院からの復帰第1作「みだれ髪」のレコーディングに臨む船村さん。昭和を代表する歌手美空さんにも数々のヒット曲を提供した。1987年10月、東京都内



ヒットメーカーとして多忙を極めていた船村さん(右)。村田英雄さん(左)が歌った「王将」は1961年、戦後初のミリオンセラーとなった



東洋音楽学校(現東京音楽大)で出会った作詞家高野公男(左)と船村さん。「別れの一本杉」など数々の名曲を生み出した。26歳で病没した高野との活動期間はわずか7年だったが、高野の存在が今も船村さんの創作の支えになっている。1956年ごろ



鬼怒川を遊び場にしていた船生国民小学校初等科6年のころの船村さん(左から2番目)。「故郷の山や川が創作の原点」だという



幼少時代の船村さん。船生村(現・塩谷町)の裕福な家庭で6人きょうだいの末っ子として生まれた。音楽好きの父に溺愛され、さまざまなジャンルのレコードに囲まれて育った

船村さんの歩み

- 1932年6月12日 船生村(現塩谷町)に生まれる。本名・福田博郎
- 1945年 旧制今市中学校(現今市高)に入学
- 1949年 東洋音楽学校(現東京音楽大)ピアノ科に入学。盟友の作詞家高野公男と出会う
- 1953年 雑誌「平凡」の作曲募集に応募し、1位入選。「たそがれとあの人」(作詞・サトウハチロー、歌・山路えり子)としてレコード化
- 1955年 「別れの一本杉」(作詞・高野公男、歌・春日八郎)発売
- 1956年 コロムビアレコードの専属作家となる
- 高野公男が肺結核で死去
- 「波止場だよお父っあん」(作詞・西沢爽、歌・美空ひばり)発売
- 1957年 「東京だヨおっ母さん」(作詞・野村俊夫、歌・島倉千代子)発売
- 1960年 音楽監督を担当した東映映画「少年猿飛佐助」がベニス国際映画祭児童映画部門グラップリ(招聘)され、ヨーロッパに2年間滞在
- 1961年 「王将」(作詞・西条八十、歌・村田英雄)発売。戦後初のミリオンセラーとなる
- 1962年 弟子の北島三郎さんがデビュー。「なみだ船」(作詞・星野哲郎)がミリオンセラーとなる
- 1978年 コロムビアを退社し、フリーに
- 全国のステージを行脚する「演歌巡礼」スタート
- 1980年 「風雪ながれ旅」(作詞・星野哲郎、歌・北島三郎)で第1回古賀政男記念音楽大賞
- 1982年 弟子の鳥羽
- 1983年 「矢切の渡し」(作詞・石本美由起、歌・細川たかし)がミリオンセラー、第25回日本レコード大賞
- 1984年 世に出なかつた歌を供養する「歌供養」スタート
- 1987年 美空ひばりさん長期入院からの再起第1作「みだれ髪」(作詞・星野哲郎)発売
- 1989年 「紅とんぼ」(作詞・吉田旺、歌・ちあきなおみ)で藤田まさこと賞
- 長年の刑務所慰問活動で法務大臣から感謝状
- 1991年 「北の大地」(作詞・星野哲郎、歌・北島三郎)で第33回日本レコード大賞
- 1995年 紫綬褒章
- 1997年 日本作曲家協会会長に就任(2005年)
- 2000年 NHK放送文化賞
- 2002年 第1回県民栄誉賞
- 2003年 旭日中綬章
- 横綱審議委員会委員に就任(13年)
- 2004年 日本音楽著作権協会会長に就任(10年)
- 2005年 塩谷町名誉町民
- 2008年 文化功労者
- 2009年 「王将」で将棋普及に貢献したとして第16回大山康晴賞特別賞
- 2014年 名誉県民
- 現在 日本音楽著作権協会名誉会長
- 日本作曲家協会最高顧問
- 全国「山の日」制定協議会顧問
- 下野新聞社客員論説委員